

## 令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・第2学年は、本に親しむ姿が多く見られた。読書の時間を確保したり、読み聞かせを行ったりしたことが成果となった。
- ・第4学年は、「我が国の言語文化に関する事項」が達成値を上回った。ことわざや慣用句等の図書を図書室や教室に置いたことで、児童が興味関心をもって学習することにつながった。
- ・第5学年は、物語を読んだり、文章を書いたりする問題に対して、目標値を上回った。書く活動を日常的に取り入れたことが成果となった。

#### (2) 課題

- ・第2学年は、話すことや書くことで自分の考えを表現することが苦手な児童が見られる。
- ・第4学年は、目標値に対して下回る結果となった項目が多くあった。当該学年までの学習内容が習熟するよう折に触れて復習するなど、継続的な指導が必要である。
- ・第6学年は、物語や説明文の内容を読み取ったり、目的に応じて文章を書いたりする数値が低い。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	目標値に対して▼	/	/
第5学年	目標値に対して△	目標値に対して△ (第4学年時)	/
第6学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第5学年時)	目標値に対して▼ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言語についての知識・理解については、目標値の平均を上回った。	思考・判断・表現について、全体的に目標値の平均または下回った。	国語への関心・意欲・態度は目標値を下回った。

##### ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
言語についての知識・理解については、目標値の平均または上回った。	物語や説明文の内容を読み取ること、文章を書くことにおいて、目標値を下回った。 (6年)	国語への関心・意欲・態度は目標値を下回った。(6年)

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事や学習活動に合わせた作文指導や日記を取り入れ、目的を明確にして継続的に書く活動を行う。</li> <li>・平仮名や片仮名では、促音・長音・拗音などの基礎的な表記の決まりをフラッシュカードなどを活用しながら身に付けさせる。</li> <li>・詩の暗唱や言葉遊びなどを通して、語彙を増やす活動に取り組む。</li> <li>・既習の漢字を文章の中で使う習慣を付ける。</li> <li>・同一の意味を様々な言葉で表現する活動を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループでの発表や話し合いの場を多く作り、自分の思いや考えを伝えたり、相手の思いや考えを聞いたりすることの習慣化を図る。</li> <li>・話型や文型を示すことで、思考を整理し、表現できるようにする。</li> <li>・経験したことや想像したことを「初め・中・終わり」の構成を考えて書く活動を定期的に取り入れる。</li> <li>・具体物を見せたりデジタル教科書を活用したりして、語彙の確認をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の継続や週1回の図書時間の確保、専門員やボランティアによる読み聞かせを通して、本に親しむ機会を増やす。</li> <li>・詩の暗唱や言葉遊びなどを通して、語彙を増やすと共に、言葉への興味・関心を高める。</li> <li>・音読発表会などを効果的に取り入れ、表現する楽しさを味わえる学習活動を行う。</li> <li>・ICTを活用して、興味・関心を高める学習活動を行う。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語は小単元の学習以外でも作文などの中で継続的に繰り返し指導する。</li> <li>・既習の漢字を文章の中で使う習慣を付ける。</li> <li>・同一の意味を様々な言葉で表現する活動を行う。</li> <li>・意味が分からない言葉や漢字の書き方など、積極的に辞書を活用する。国語の時間以外でも使い、辞書の活用を習慣化する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループなどで話し合う時間を作る。友達と意見を交流することで、話の中心に気を付けて聞いて、質問したり感想を述べたりする力を付ける。</li> <li>・作文を書く活動に継続して取り組む。自分の考えが明確になるよう理由や例を挙げたり、段落の構成に注意したりして書くよう指導する。</li> <li>・場面の移り変わりに注意し、登場人物の心情の変化など、叙述に即して読むよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の継続や週1回の図書時間の確保、専門員による読み聞かせ、ブックトーク等を通して、本に親しむ機会を増やす。</li> <li>・俳句の暗唱や百人一首などを通して、言葉への興味・関心を高める。</li> <li>・ICTを活用して、興味・関心を高める学習活動を行う。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語、述語、修飾語、敬語など、小単元の学習以外でも読むことや作文などの中で継続的に繰り返し指導する。</li> <li>・既習の漢字を文章の中で使う習慣を付ける。</li> <li>・同一の意味を様々な言葉で表現する活動を行う。</li> <li>・「書くって楽しいね」を活用し、文章の書き方を理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアやグループで話し合う時間を作り、話し合ったことをまとめたり、グループの意見を全体に伝えたりする活動を日常的に行う。</li> <li>・自分の考え、事実、説明などを書く活動を、国語をはじめ他教科でも取り入れる。その際、指定された文字数で書いたり、段落構成を考えて書いたりする経験を増やす。</li> <li>・物語文を読み取る際には、登場人物の心情を直接的に描写されている場合や暗示的に描写されていることに気付かせ、叙述から丁寧に読み取らせる。</li> <li>・文章の内容の要旨を捉えたり、事実と意見などの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読んだりする活動に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の継続や週1回の図書時間の時間、専門員による読み聞かせ、ブックトーク等を通して、本に親しむ機会を増やす。</li> <li>・俳句や短歌の暗唱、百人一首などを通して、言葉への興味・関心を高める。</li> <li>・ICTを活用して、興味・関心を高める学習活動を行う。</li> </ul>

## 令和5年度 算数科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ICTを活用した授業を展開したことにより、画像や動画などを用い、具体物を操作するなどの視覚的な情報をもとに授業を実施した。その結果、児童の関心・意欲を高めたり、学習の理解を深めたりすることができた。
- ・放課後補習、土曜補習を実施したことにより、個別指導の充実を図ることができた。

#### (2) 課題

- ・特に第4・6学年において、基礎的な計算の習得に課題がある。個別指導や、繰り返しの学習に重点を置き、当該学年までの学習内容が定着するよう継続的な指導が必要である。
- ・観点別正答率から第4・6学年は主体的に取り組む態度に課題がある。「わかる」「できる」「楽しい」と感じ、達成感を味わうことができる授業展開を検討する必要がある。
- ・ノートの書き方が定着していない児童が多く見られるため、書画カメラなどを活用して書き方の見本を提示しながら板書させ、「分かりやすいノートづくり」の指導をしていく。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	目標値に対して▼	/	/
第5学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第4学年時)	/
第6学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第5学年時)	目標値に対して≒ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・第4学年では、目標値に対して5.9ポイント下回った。 ・「数と計算」の領域で、「3けたの足し算・引き算（繰り上がり・繰り下がり）」「整数-小数第一位の計算」「除法（余りあり）の文章問題」に課題がある。	・第4学年では、目標値に対して11.3ポイント下回った。 ・「数と計算」の領域で、「わり算の余りの処理をして正しい答えを導く」「□を使った問題」に課題がある。 ・「測定」の領域で、「道のりを求め、どちらの道のりの合計が短いかを説明する」問題に課題がある。	・第4学年では、目標値に対して5.6ポイント下回った。 ・「測定」の領域で、「道のりを求め、どちらの道のりの合計が短いかを説明する」問題に課題があるが、その他の領域では、概ね目標値に達している。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年では、目標値に対して2.2ポイント下回った。</li> <li>・「数と計算」の領域で、「数直線上にあらわされた分数を読み取る」「小数第一位-小数第二位の計算」「() や四則の混じった計算」問題に課題がある。</li> <li>・「図形」の領域で、「ひし形の作図」の問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年では、目標値に対して3.1ポイント下回った。</li> <li>・「データの活用」の領域で、「折れ線グラフと棒グラフをもとに、目的に応じて考察する」問題に課題がある。</li> <li>・「面積」の領域で、「はがきのおよその面積を選ぶ」問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5学年では、目標値に対して3.5ポイント下回った。</li> <li>・「図形」の領域で、「ひし形の作図」の問題に課題がある。</li> <li>・「面積」の領域で、「はがきのおよその面積を選ぶ」問題に課題がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6学年では、目標値に対して7.6ポイント下回った。</li> <li>・「数と計算」の領域で、「整数÷整数の商を分数で表す」「小数第二位×小数第一位(乗数に空位あり)の計算」「帯分数-帯分数=真分数(約分・通分)」問題に課題がある。</li> <li>・「図形」の領域で、「ひし形の面積を求める」「立方体の体積を求める」問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6学年では、目標値に対して7.2ポイント下回った。</li> <li>・「数と計算」の領域で、「小数の乗法の文章問題を表した図の構造をとらえる」問題に課題がある。</li> <li>・「データの活用」の領域で、「値に0があり、答えが小数になる分離量の平均を求める」「与えられた情報を読み取り、基準量と割合から求めた比較量を比べ、正しい理由を説明する」問題に課題がある。</li> <li>・「図形」の領域で、「図に示された五角形の内角の和の求め方を選ぶ」問題に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6学年では、目標値に対して9ポイント下回った。</li> <li>・「データの活用」の領域で、「与えられた情報を読み取り、基準量と割合から求めた比較量を比べ、正しい理由を説明する」問題に課題がある。</li> <li>・「図形」の領域で、「図に示された五角形の内角の和の求め方を選ぶ」問題に課題がある。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書や動画を使用して児童への説明を行い、式や自分の言葉で説明する活動を十分に行う。</li> <li>タブレット端末と紙を併用し、毎回の学習内容の習得を確実にする。</li> <li>ICTの活用と共に絵図やブロックといった具体物を活用した授業を展開し、視覚的に分かりやすい授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班やペア活動で自分の考えを表現し、説明する機会を意図的に設け協同学習を行う。（可能な範囲で振り返りコメントのできる機会を作る）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別学習を行い、児童が「分かった」「できる」「楽しい」と実感できる授業を行う。</li> <li>ICTを活用した学習を多く取り入れ、画像や動画を使用し児童の興味・関心を高める。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル教科書や動画を使用して児童への説明を行い、式や自分の言葉で説明する活動を十分に行う。</li> <li>タブレット端末と紙を併用し、毎回の学習内容の習得を確実にする。</li> <li>ICTの活用と共に絵図やブロックといった具体物を活用した授業を展開し、視覚的に分かりやすい授業を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>班やペア活動で自分の考えを表現し、説明する機会を意図的に設け協同学習を行う。（可能な範囲で振り返りコメントのできる機会を作る）</li> <li>児童の多様な考えをホワイトボードに書かせ黒板に掲示し、クラス全体で考えの共有を行う。</li> <li>板書を基に、自分の考えを整理し工夫したノートづくりを行う。</li> <li>他者とノートを見せ合う協同学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>習熟度別学習を行い、児童が「分かった」「できる」「楽しい」と実感できる授業を行う。</li> <li>ICTを活用した学習を多く取り入れ、画像や動画を使用し児童の興味・関心を高める。</li> </ul>

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・デジタル教科書や動画を使用して児童への説明を行い、式や自分の言葉で説明する活動を十分に行う。</li><li>・タブレット端末と紙を併用し、毎回の学習内容の習得を確実にする。</li><li>・「数と計算」の領域では、ことばや問題の意味をとらえるため、図や文章を付記し理解する、相手に説明する活動を行う。</li><li>・「図形」の領域では、面積の求め方や求めるのに必要な情報整理の場面を繰り返し設定し、定着につなげる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・班やペア活動で自分の考えを表現し、説明する機会を意図的に設け協同学習を行う。(可能な範囲で振り返りコメントのできる機会を作る)</li><li>・自分の考えを式や図、言葉などで表現できるようにする。</li><li>・「データの活用」の領域で、実際の場面を想定し、表やグラフを使用する活動を行う。</li><li>・「図形」の領域では、実物を用いたりICTを活用したりして図形を操作しながら考えることができるような学習を取り入れる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・習熟度別学習を行い、児童が「分かった」「できる」「楽しい」と実感できる授業を行う。</li><li>・ICTを活用した学習を多く取り入れ、画像や動画を使用し児童の興味・関心を高める。</li></ul>

## 令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・ICTの活用により、植物、昆虫、魚など「生命」領域では観察がしっかりできて学力の定着につながった。
- ・観察・実験の前に観察・実験器具や用具の使い方を示したり確認したりしたことによって、正しい使い方や扱い方を守って観察・実験することができた児童が多かった。

#### (2) 課題

- ・目標値に対して下回る結果となった項目が多くあった。当該学年までの学習内容が習熟するよう折に触れて復習したり、話に出したり継続的な指導が必要である。
- ・「知識・技能」について、特に「エネルギー」「生命」の領域に対して、基礎的な知識を十分に身に付けさせることができていない。随時既習事項の復習を行いながら授業を進め、学習内容の定着を図る必要がある。
- ・「思考・判断・表現」について、理科的な事物・現象を科学的に分析する方法を考えたり、根拠を示して表現したりすることに課題がある。観察や実験の前に予想を立てたり、結果から考察をしたりする時間を十分にとる必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	目標値に対して▼	/	/
第5学年	目標値に対して△	目標値に対して▼ (第4学年時)	/
第6学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第5学年時)	目標値に対して▼ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自然事象に対する概念や性質・規則性の理解を深めるために、体験的活動を多く取り入れた学習は定着率がやや高くなっている。	・問題に対して既習事項や生活経験を基に根拠のある予想や仮説を発想したりする力が低い。また、実験の結果からどのようなことが言えるのかを言語化、文章化する機会が少ないことが考えられる。	・科学的な事象と実生活が結びついていないことが考えられる。結びついていないことを体験的に学習しているので、主体的に課題に取り組む姿勢が作れず興味関心の低い児童が多くなっていると考えられる。



## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>科学的な問題解決を行うために必要な観察・実験等の基本的な技能が、確実に定着できていない。</li> <li>自然事象に対する概念や性質・規則性の理解を深めるための、体験的活動の時間が足りていないことが考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験結果を表やグラフに整理する活動が不足していることが考えられる。</li> <li>自然現象の変化や働きについて、より妥当な考えを見出す力を高めるために、自分の言葉で考察をまとめる機会をより増やす必要性が感じられる。また、考える際には、考える視点を与える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを身近な経験や生活に結び付けて考え・予想するなど、興味をもたせる学習の工夫が必要である。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>実験器具の名前を言わせるなどの活動をしてから対象や目的に応じて観察・実験器具を適切に操作することができるよう、目的を共有してから操作方法を確認させる。</li> <li>飼育・栽培や観察実験では、具体的に着目する視点（葉の数や形等）を与え、予想や仮説などを基に検証させる。</li> <li>天気や月、星の動きなど身近に体験しにくい学習では、デジタル教材を授業に取り入れるなど、視覚支援を充実させる。</li> <li>学習した理科用語を授業中に振り返る機会を意図的に取り入れ、学習内容の理解と知識の定着を深める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題解決の資質・能力を高めるために、「①課題を知る②予想の立て方を知る③方法を知る④事実を書く⑤結果から考えたことを書く」といった問題解決の流れに沿って板書を行う。</li> <li>予想を立て、その根拠を自分の経験や既習学習から用いて言葉で説明したり書いたりする機会を増やす。</li> <li>実験などの結果を記録する際、毎回同じ視点で比べるように促し、関係性や違いに気付かせる。</li> <li>実験などの結果から考察ができるように、初めのうちは書き方の例を示したり、穴埋めにしたりするなどの支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に学習に取り組ませるため、児童の体験から結び付けて問題をつくっていく。</li> <li>事象に十分に関わらせ、「なぜ」を大切にしながら学んだことと生活との関わりを振り返る時間を設け、学習内容を深く理解したり、新しい問題を見付けようとする態度を育てる。</li> <li>デジタル教材やタブレット学習を授業に取り入れるなど、視覚支援を充実させ活動しやすい環境を作る。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に教科書の「確かめよう」のページを活用し小テストを行い、知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を通してペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、話し合いを通して物事を多面的に考え、妥当性のある結論を導き出せるようにする。</li> </ul>	
---------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を活用する学習を多く取り入れ、具体的に注目する視点を与えることで資料からいえることを考える力を高める。</li> <li>・天気や月、星の動きなど身近に体験できない学習では、デジタル教材を授業に取り入れるなど、視覚支援を充実させる。</li> <li>・実験器具の名前を言わせることで使い方を定着させていく。更に観察や実験のやり方を教師が手本（動画を事前に準備する等）を示して確認させることで、正しい実験の仕方や実験器具の扱い方を身に付けさせる。</li> <li>・実験の後や単元のまとめの時間に、実験結果や知識を活用・適用して解く問題を設定して、知識の定着を図る。</li> <li>・日常的に教科書の「確かめよう」のページを活用し小テストを行い、知識の定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の資質・能力を高めるために、「①課題を見付ける②予想を立てる③方法を見付ける④事実を整理して書く⑤結果から考えたことに理由を付けて書く⑥友達と共有する」という学習活動を繰り返す行う。</li> <li>・仮説や考察を書かせるときに、自分の考えに対しての根拠・理由付けにあたるものを入れて書くように指導する。その際、書き方の例を示す。</li> <li>・単元を通してペア学習やグループ学習を積極的に取り入れ、話し合いを通して物事を多面的に考え、妥当性のある結論を導き出せるようにする。</li> <li>・実験結果を、表やグラフに自分の力でまとめることができるよう、算数科における既習事項と関連させた復習の時間を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入時に演示実験や映像資料を取り入れたり、児童が調べてみたいと思うような課題提示をしたりすることで、理科に対する興味・関心を高めていく。</li> <li>・体験活動から問題を作っていく、体験できない事象については、視聴覚資料やICTを活用して意欲を高める。</li> <li>・学んだことを日常とつなげたり生かしたりすることができるように、実験や観察の結果からどんなことが身近なことに使われているか考えたり、話し合ったりする機会を設ける。</li> <li>・理科に関する掲示物や学級文庫に科学的な本を意図的に置くなど、学習環境を整える。</li> </ul>

## 令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・具体物やICTを活用した授業を展開したことで、児童の興味・関心を高めることができ、学習内容の理解につながった。
- ・タブレットを活用し子供たちの考えを共有することができたので、学級全体での理解を深めることができた。
- ・デジタル教科書を利用したことで、写真からだけでなく動画からも学ぶことができた。教科書にある資料の実際の映像を見たり、インタビューでの話を聞いたりすることで、より深く教材を学び、そこから考えることができた。

#### (2) 課題

- ・地図記号や地図帳の基本的な使い方、都道府県の位置など定着を図っていく必要がある。
- ・記述問題で、問題に対する自分の考えや選択した理由を説明する力を伸ばすことに課題がある。知識として身に付いていることを、問題の解答に合わせて記述する練習を行っていく必要がある。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	目標値に対して▼	目標値に対して≒	
第5学年	目標値に対して▲	目標値に対して▼ (第4学年時)	目標値に対して≒
第6学年	目標値に対して▼	目標値に対して▼ (第5学年時)	目標値に対して▼ (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・方位や地図記号など、基本的な知識の定着と、問題に対して文章で解答する力を身に付けていく必要がある。</li> <li>・市役所の役割について、より理解していく必要がある。</li> <li>・複数の資料から分かることを正しく読み取り、整理してまとめる活動を取り入れる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料に基づき与えられた条件から読み取る力が弱い。問題文を読んで、分かったことに対して、自分の考えを表現する活動を授業に取り入れていく必要がある。</li> <li>・資料から必要なことを読み取る力が弱い。図や年表から判断する活動を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に対する事柄を自ら調べるなど、さらに学びに向かう姿勢を育てる必要がある。地域にある身近な教材を授業で扱うなど、意欲的に活動できるように工夫を行う必要がある。</li> <li>・自分の考えを書かせたり発表させたりするなど、タブレットも用いて問題に対して関心をもてるような授業展開をする必要がある。</li> </ul>

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的な用語、都道府県や国の名前などと地域や地方の特色などを合わせて覚えるようにし、基本的な知識を定着させる必要がある。</li> <li>・複数の資料を関連付けて、正しく情報を読み取る必要がある。</li> <li>・用語や国の名前、歴史上の人物など、基本的な知識を定着させる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自らの考えを文章で表現することに課題がある。そのため、自分の考えを書かせたり、お互いに伝えあったりする活動が必要である。</li> <li>・複数の資料を関連付けて考察したり、資料から必要なことを読み取ったりすることが弱いので、複数の図や年表から判断する活動を増やす必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会に対する興味・関心を高める必要がある。ゲストティーチャーや体験的・疑似体験的な活動を積極的に取り入れた授業の工夫を行う必要がある。</li> <li>・タブレットを使って問題に取り組む時間を作るなど、取り組みやすい活動を増やす必要がある。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生は地図記号、地図帳の基本的な使い方をしっかり教える。定期的に定着を確認していく。</li> <li>・4年生は47都道府県の名称と位置を理解する。都道府県名も漢字（国語科担当）で書けるように教える。地図を積極的に活用し、八方位を含めた見方の活動を増やしていく。</li> <li>・算数の棒グラフや折れ線グラフの学習と関連させて、資料やグラフから読み取る力を身に付ける。</li> <li>・ゲストティーチャーを招く。</li> <li>・実際に見学に行くなど体験的な活動をたくさん取り入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間の授業の最後5分間は、学習のまとめを自分の力で書けるような活動を取り入れる。</li> <li>・単元を通してペア学習やグループ学習で、お互いの考えを伝え合う活動を積極的に取り入れる。タブレットも活用し、考えを共有しやすくしていく。</li> <li>・カルタや新聞などにまとめる時も、モデルを必ず教師から示してまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科の興味・関心を高めるために、身近な教材を授業の中に取り入れていく。</li> <li>・社会科見学だけでなく、近隣の施設や工場、スーパーなどにも見学に行き、体験的な活動をたくさん取り入れていく。</li> <li>・地図記号や都道府県のクイズ、ミニテストなどを取り入れ、楽しく興味をもてるような授業の工夫をする。</li> <li>・日常生活から、学習に関連する問題を取り上げて使うようにする。</li> </ul>

(2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年生は都道府県名・世界の国名と国旗・世界の中の日本の位置など、6年生は歴史上の人物についても定着できるように、プリントなどを使って定期的に復習を行う。</li> <li>・単元で大切な言葉を穴埋め問題にするなど、ワークシートやタブレットを活用して楽しく覚えられるようにする。</li> <li>・算数の学習との相互性を生かし、複数のグラフから関連性を捉え正しく読み取る練習を行う。</li> <li>・複数の資料から社会的な関連や、どのような問題があるかなどを考える練習を行う。</li> <li>・体験学習やゲストティーチャーを招いて行う授業を取り入れていく。</li> <li>・単元で大切な言葉を穴埋め問題にするなど、楽しく覚えられるように工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時間、学習のまとめを自分の力で書く活動を取り入れる。その際、キーワードや根拠を明らかにして自分の考えを書くようにする。また、どのような問題点があり、どのような取り組みができるかなどを考えさせてまとめさせる。</li> <li>・単元を通してペア学習やグループ学習で、お互いの意見や考えを伝え合わせる活動を積極的に取り入れる。タブレットも活用し考えを共有していく。</li> <li>・新聞やポスターなどにまとめる際は、書くべき内容(テーマ)を必ず教師から示してまとめるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習やゲストティーチャーを招いて行う授業を取り入れていく。</li> <li>・世界の国や歴史上の人物についてのクイズやミニテストを取り入れ、楽しく覚えてより興味をもてるような授業の工夫をする。</li> <li>・デジタル教科書を授業に取り入れ映像による資料を多く提示し、興味関心を高めていく。</li> <li>・社会科見学などで工場見学をしていく。また、事前に関連する動画や具体物を用いて、関心を高める。</li> <li>・大田区内の古墳を実際に見に行くなど、できるだけ児童が身近に感じられるような工夫をする。</li> <li>・政治や国際社会の学習では、時事問題などを取り上げ、意見を出させるなどし、関心を高める。</li> </ul>

# 令和5年度 生活科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・体験的活動の実践を多く取り入れたことで身近な人々との関わり等に気付くことができた。
- ・体験的活動を多く実践したことで、児童が主体的に学習に取り組むようになった。

### (2) 課題

- ・気付いたことや自分が思ったことを、絵や言葉で表現出来る児童が少ない。
- ・体験的活動から得た気づきを深めて、生活上必要な習慣や技能を身に付けることが課題であると感じた。

## 2 観点別分析

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	主体的に学習に取り組む態度
・朝顔や野菜の栽培などの体験的活動を積極的に行うことで、自然や身近な人々との関わり等に気付くことができた。一方で、生活上必要な習慣や技能を身に付けることが難しかった。	・体験的活動を通して得た思考や気づきを言葉や絵での確に表現することが難しかった。	・朝顔や野菜の栽培などの体験的活動を積極的に行うことで児童が主体的に考えたり取り組んだりしようとする姿が多く見られた。

## 3 授業改善のポイント（観点別）

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	主体的に学習に取り組む態度
・体験的活動の中で感じられた、気づきや考え、願いなどを、自分の言葉で表現できるようにする。また、友達、地域の方と触れ合う活動の中から生活上必要な習慣や知識を身に付けさせる。	・言葉での表現とともに絵、動作、劇など、様々な表現方法で他者と伝え合ったり、振り返ったりすることをできるようにする。その後、その場に応じて伝わりやす表現方法を自分で判断できるようにする。	・季節の変化を感じる体験活動及び動植物の世話などを通じた体験的活動の更なる充実を目指す。その際、児童からの小さなつぶやきも敏感に感じ取り、児童が学ぶ意欲をもって主体的に学習に取り組む態度を大切にしてい

令和5年度 外国語活動・外国語科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・色、野菜、形などの身近なものを示す英単語を正確に聞き取ることは概ねできている。
- ・好きな教科や名前のスペルなど対話の具体的な情報を聞き取ることは概ねできている。

(2) 課題

- ・アルファベットの大きい文字や小さい文字などの読み取りや日常会話の理解はあるが、英単語の読み書きに課題がある。
- ・既習した英単語や表現を活用して、英作文をすることについて、課題がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年			
第5学年			
第6学年	目標値に対して▼	目標値に対して≒ (第5学年時)	

(2) 分析（観点別）

① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○学期を通して、授業の導入で「日時・曜日」、「数字」などの身近な英単語を含めた歌を繰り返し歌うことで、正しい発音ができるようになった。 ○英単語や会話の表現などは、繰り返し発声練習を行うことで、正しい発音ができるようになった。	○友達同士で英語を用いたコミュニケーション活動では、自己紹介や自分の考えを伝えることができた。 ○「好きなもの」や「好きな時刻の理由」などの学習では、既習事項だけでなく、自分の伝えたい英単語を調べ、伝えようとする姿が見られた。	○様々な英語表現に対し、慣れ親しもうと、すすんで発音練習やコミュニケーション活動に取り組もうとする姿が見られる。 ●発音を聞き取ることが難しく、英語を用いてのコミュニケーション活動に自信をもって取り組めない児童もいた。

② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○概ねアルファベットの形を正しく捉え、読んだり、聞き取ったりすることができている。 ●アルファベットの小さい文字の書き取りに課題がある。	○簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることは、概ねできている。 ●例文を参考に、文を作成することに苦手意識をもっている児童がいる。	○ゲームや遊び等を通じて、友達と英語でのやり取りをする活動では、意欲的に学習に取り組む姿が見られた。 ●英語への関心・意欲・態度は、第6学年では、前年度より低下している。

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で聞いたことのある英単語を使い、楽しく英語に慣れ親しむことができるような活動を積極的に取り入れていく。</li> <li>既習事項をフラッシュカードやゲームを通して、復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も英語を話したいという気持ちを深めるために、児童のよい点を褒め、即時評価を行う。</li> <li>学んだ英単語の定着を目標に、コミュニケーション活動を多く取り入れたり、習得した英単語を振り返る時間を設けたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語に親しむことができるように、歌やゲーム活動を取り入れるなど、楽しく学習できる雰囲気をつくっていく。</li> <li>児童が正しく発音できるように、ゆっくり発音したり、個別に発音の仕方を確認したりする。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返しの発音練習やカードを使った活動を通して、英単語を覚えられるようにする。</li> <li>定期的に、英単語のテストや口頭での確認など既習事項を復習することで、児童の定着度を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新しい英単語や表現を学ぶ際には、イラストと英単語を結び付けて判断したり、アクセントを確認したりして、定着を図る。</li> <li>実際の場を想定して、友達と英語でのコミュニケーション活動をする機会を設ける。</li> <li>既習事項の確実な定着のため、授業の始めでは、前回学んだ英単語や表現を復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゆっくり、繰り返し発音練習することやフラッシュカードを用いた活動を重点的に取り組む。正しい発音を身に付けさせ、自信を深めて活動に参加できるようにする。</li> <li>楽しい雰囲気の中で英語に親しむことができるように、歌やゲームなどの活動を取り入れていく。</li> </ul>

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>書く領域については、なぞり書き、写し書きなどスモールステップで技能を定着させる。</li> <li>簡単な語句や基本的な表現について、動画やイラストなどの視覚的な情報を用いた学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な語句・表現を指導する際には、実生活での場面を想定させることで、適切な使い方を理解させる。</li> <li>書くことに対する苦手意識を軽減させるために、自分の身近な人の紹介など取り組みやすいテーマで文章を書く学習を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌やゲームも導入して、外国語への意欲・関心を高めるとともに、友達と英語でのやり取りをする活動を多く設ける。</li> </ul>



# 令和5年度 体育科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・動画による児童集会活動を通して運動をすることの大切さを伝えたり、休み時間の外遊びを推奨したりすることにより、外で遊ぶ児童が増えている。
- ・休み時間に、校庭だけでなく、体育館やバスケットコート、第二グラウンドを積極的に開放したことで、進んで運動する児童が増えている。
- ・体育の授業で使った用具を、休み時間にも校庭で自由に使用できるようにしたことで、学びや運動の日常化につながった。
- ・ICTを活用する機会を増やしながら授業を行ったことで、動きのコツを見付けやすくしたり、児童自身が具体的に動きを振り返ったりする学び方ができるようになった。
- ・『学習カード』を活用する機会を増やしたことで、児童一人一人が自分の学習の様子をじっくりと振り返ることができ、次の活動や取組に活かそうとする姿勢につながる場面が増えてきている。

### (2) 課題

- ・体育学習を通して、体を動かすことの楽しさや喜びを味わうことができている児童が増えつつあるが、児童の意欲や技能面においての二極化が目立つ状況が継続したままである。
- ・感染症対策のため、個人で行う運動や制限を設けたゲームを行うことが多かった。そのため友達や仲間と連携する運動の経験が乏しい。また、勝敗を競うゲームにおける戦術学習も十分に行えていない。

## 2 観点別分析

### (1) 体力テスト結果の分析

専門業者による分析待ち

### (2) 観点別の分析

#### ①低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"><li>・運動遊びの楽しさに触れ、その行い方を知ることができている。</li><li>・運動遊びに取り組む時間を十分確保したことで、基本的な動きが身に付いている。</li><li>・感染症対策による制限のため、体を腕全体で支える力、水中での動き、ゲームの中でボールを持たない動きが身に付いていない。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・感染症対策による制限のため、規則の工夫やゲームにおける攻め方の選択の経験が乏しい。</li><li>・走・跳の運動遊びでは、場を選んだり遊び方を工夫したりすることができている。</li><li>・学習の振り返りの際に、感じたことを言葉で表現することができている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・運動遊びにすすんで取り組むことができている。</li><li>・きまりを守り、仲良く運動することができる児童が多い。</li><li>・勝敗を受け入れられない児童もいる。</li><li>・場や用具の安全に気を付けて準備や片付けをする経験が乏しい。</li></ul>

② 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさや喜びに触れ、その行い方及び健康で安全な生活や体の発育・発達について、概ね理解している。</li> <li>・個人で行う基本的な動きや技能は概ね身に付いている。</li> <li>・感染症対策による制限のため、体を腕全体で支える力、水中での動き、ボールを持たないときの動きが身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の運動や身近な生活における健康の課題を見付けることができている。</li> <li>・感染症対策による制限のため、規則の工夫や簡単な作戦の選択の経験が乏しい。</li> <li>・走・跳・投の運動では、自分の課題に合わせて、場や活動を選択することができる児童は約半数である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動にすすんで取り組むことが概ねできている。</li> <li>・きまりを守り、仲良く運動することができる児童が多い。</li> <li>・勝敗を受け入れられない児童もいる。</li> <li>・友達の考えを認めようとしている。</li> <li>・場や用具の安全に気を付けて準備や片付けをする経験が乏しい。</li> </ul>

③ 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の楽しさや喜びを味わい、その行い方及び心の健康やけがの防止、病気の予防について、概ね理解している。</li> <li>・個人で行う基本的な技能及び健康で安全な生活を営むための技能は概ね身に付いている。</li> <li>・感染症対策による制限のため、体を支持する力、各種泳法、ボールを持たないときの動きが身に付いていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己や他者の運動や身近な生活における健康の課題を見付けることが概ねできている。</li> <li>・感染症対策による制限のため、ルールや工夫や自己やチームの特徴に応じた作戦の選択の経験が乏しい。</li> <li>・自己やチームの課題を解決するための方法を工夫することができる児童は約半数である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動に積極的に取り組むことが概ねできている。</li> <li>・約束を守り、助け合って運動することができる児童が多い。</li> <li>・勝敗を受け入れられない児童もいる。</li> <li>・仲間の考えや取り組みを認めようとしている。</li> <li>・場や用具の安全に気を付けて準備や片付けをすることができる。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼遊びや遊具・用具を使った運動遊びに取り組む機会を多く設け、「遊び」を通して様々な動きに親しむ中で、基本的な動きが身に付くようにする。</li> <li>・単元を問わず、準備運動も兼ね、鬼遊びや短縄を使った運動遊び、体ほぐしの運動遊びを継続して取り組み、持久力や巧みな動きを身に付けたり、体を動かす心地よさを味わわせたりする。</li> <li>・ICT機器や教師、友達を通して、手本となる動きや低学年の実態に応じた動きのコツを伝える。</li> <li>・感染症対策による制限のためできていなかった運動遊びに取り組む際には、過度に負荷が掛からないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿ってやりたいことを自己決定する活動を取り入れる。</li> <li>・単元によっては『学習カード』を活用しながら、振り返る学び方を体育科の中でも培っていく。</li> <li>・よい動き方に気付いたり、伝えたりする経験を積ませる。</li> <li>・自己だけでなく、友達の動きのよさを見付けさせ、伝える活動を取り入れる。</li> <li>・活動を振り返ることができる『学習カード』を活用する。○を付けるだけのものや一言で振り返ることのできるカード等を活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に留意し、きまりを守りながら、運動遊びにすすんで取り組めるような声掛けや場の設定をしていく。</li> <li>・場の準備・片付けを自分たちで安全に行えるように指導する。</li> <li>・運動を楽しむ姿勢や一生懸命に取り組んでいる姿を積極的に褒め、全体の意欲向上につなげるようにする。</li> <li>・運動のコツを掴ませ、できる喜びを味わわせ、運動の楽しさを実感させていく。</li> <li>・全員が活躍できる場や規則を設定する。</li> <li>・休み時間でも授業で行った運動に取り組めるように『学習カード』等を活用する。</li> <li>・休み時間には、教師もすすんで一緒に校庭に出て遊び、共に運動の楽しさを味わい、伝えるようにする。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体づくり運動」を要に多様な動きの獲得や動きの組み合わせができるようにする。</li> <li>・単元を問わず、準備運動も兼ね、鬼遊びや短縄を使った運動、体ほぐしの運動を継続して取り組み、持久力や巧みな動きを身に付けたり、体を動かす心地よさを味わわせたりする。</li> <li>・ICT機器や教師、友達を通して、手本となる動きや中学年の実態に応じた動きのコツを伝える。</li> <li>・授業の始めに、主運動につながる運動を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題に沿ってやりたいことを自己決定する活動を取り入れる。</li> <li>・活動を振り返ることができる『学習カード』を活用する。○を付けるだけのものや一言で振り返ることのできるカード等を活用する。</li> <li>・自己の課題に合った場や練習方法を選択する活動を取り入れる。</li> <li>・自己だけでなく、チームやグループ活動の中の課題を見付け、課題を解決するための方法や活動を工夫しながら考えたり、互いの動き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に留意し、きまりを守りながら、運動にすすんで取り組めるような声掛けをする。</li> <li>・場の準備・片付けを自分たちで安全に行えるように指導する。</li> <li>・運動を楽しむ姿勢や一生懸命に取り組んでいる姿を積極的に褒め、全体の意欲向上につなげるようにする。</li> <li>・運動の仕方や技能のコツを掴ませ、できる喜びを味わわせ、運動の楽しさを実感させていく。</li> <li>・全員が活躍できる場や規則を設定する。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健学習や食育とも連携し、健康の保持増進にも目を向けさせ、規則正しい生活と意欲的に運動をする態度を育てる。</li> <li>・感染症対策による制限のためできていなかった運動に取り組む際には、過度に負荷が掛からないようにする。</li> </ul>	<p>の良さについて見付け、考えたことを伝えたりする活動を取り入れる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休み時間でも授業で行った運動に取り組めるように学習カード等を活用する。</li> <li>・休み時間には、教師もすすんで一緒に校庭に出て遊び、共に運動の楽しさを味わい、伝えるようにする。</li> </ul>
----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を問わず、準備運動も兼ね、持久走や短縄を使った運動、体ほぐしの運動に継続して取り組み、持久力や巧みな動きを身に付けたり、体を動かす心地よさを味わわせたりする。</li> <li>・ICT機器や教師、友達を通して、運動技術の重点を押さえる。</li> <li>・易しい場や練習方法を示し、課題解決方法を理解・活用し技能を高められるようにする。</li> <li>・授業の始めに、主運動につながる運動を取り入れる。</li> <li>・保健学習や食育とも連携し、健康の保持増進にも目を向けさせ、規則正しい生活と意欲的に運動をする態度を育てる。</li> <li>・感染症対策による制限のためできていなかった運動に取り組む際には、過度に負荷が掛からないようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を理解し、自己や他者の能力を分析したり解決方法を自己決定したりする活動を取り入れる。(ICT機器の活用)</li> <li>・活動を振り返ることができる『学習カード』を活用する。○を付けるだけのものや一言で振り返ることのできるカード等を活用する。</li> <li>・運動中の状況判断が求められる活動を設定し、判断力を伸ばす。</li> <li>・健康の保持増進に向けた解決策を調べ、プレゼンテーションする場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全に留意し、約束を守りながら、運動にすすんで取り組めるような声掛けをする。</li> <li>・運動に楽しむ姿勢や一生懸命に取り組んでいる姿を積極的に褒め全体の意欲向上につなげるようにする。</li> <li>・運動のコツを掴ませ、運動の楽しさを味わわせる。</li> <li>・仲間の考えを認め、協働して学ぶ姿を価値づける。</li> <li>・全員に役割を与え、「する・見る・支える・知る」体育の見方・考え方に触れられるようにする。</li> <li>・休み時間でも授業で行った運動に取り組めるように学習カード等を活用する。</li> </ul>

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・興味関心が高く、意欲的に取り組む姿勢が多く見られる。
- ・器楽の技能はスモールステップかつ反復学習により、着実に技能を身に付けることができている。

(2) 課題

- ・学んだ知識や技能を生かすことがまだ十分ではない。
- ・感じ取ったことと聴き取ったことを結び付けて考える力が十分ではない。

2 分析（観点別）

①低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の高さを感じ取って歌うことができている。</li> <li>・鍵盤ハーモニカは指遣いに気を付けて演奏できている。</li> <li>・拍に乗ってリズムを取ることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体を使って音楽の様子を表し、感じ取ったことを適切な言葉で表す力に課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心が高く、意欲的に楽しく音楽活動に取り組む姿が多く見られる。</li> </ul>

②中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・互いの歌声を聴きながら、自然で無理のない発声で歌うことができている。</li> <li>・リコーダーの演奏においては、指遣いに気を付けて演奏し、タンギングをして美しい音色で演奏する技能の定着が見られる。</li> <li>・第3学年から始まる階名に親しむ学習に意欲的に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じ取ったことが音楽の要素の何に基づいているのか考える力に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心が高く、発表の場面においても意欲的に取り組む姿が多く見られる。</li> </ul>

③高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭声発声で歌うことができている一方、響きのある声で歌う技能や、高さの異なる声部を重ねて歌う技能に課題が見られる。</li> <li>・リコーダーは息遣いに気を付けて演奏することができている。タンギングの習得に関しては個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じ取ったことが音楽の要素の何に基づいているのか考える力に課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・器楽の学習においては意欲的に取り組む姿が多く見られる。歌唱活動に取り組む際の意欲面が課題。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

#### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>音や音楽に合わせて身体を動かす活動を多く展開し、拍感をつかむと共に、拍のまとまりを感じ取る活動をスモールステップで繰り返し行うことで習得させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音楽の様子を表す言葉の揭示を充実させ、児童自ら判断して適切な言葉を選べるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体を伴った活動や児童同士の交流の機会を多く設定し、様々な音楽に親しみ、音楽への興味関心を高める。</li> </ul>

#### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>リコーダーの息遣いやタンギング等の基本的な技能について、必要感をもたせて習得させる。</li> <li>階名の学習等、楽典的な学習を体験的に習得させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じ取ったことが音楽の要素の何に基づいているのか、揭示物と関連付けし、視覚的・身体的に捉えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>読譜に関する学習を体験的に習得させ、児童同士の交流の機会を多く設定し、様々な音楽に親しみ興味関心を高める。</li> </ul>

#### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>スモールステップでハーモニーをつくる学習を積み重ねる。</li> <li>美しい音色で演奏する良さを実感させ、必要感をもってタンギングで演奏する技能を身に付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>感じ取ったことが音楽の要素の何に基づいているのか、揭示物と関連付けし、視覚的・身体的に捉えさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物事と関連付けしたり、ねらいを明確化することで、音楽への興味関心を高める。</li> </ul>

# 令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

## 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

### (1) 成果

- ・わかりやすく取り組みやすい活動を提示し、めあてを明確にもたせて表現に取り組ませることにより、学習に向かう態度が向上した。
- ・ICT機器を活用しながら児童の目の前で「やってみせる」ことを確実にを行い、材料や用具の特性への理解度を高めることができた。
- ・制作途中の児童作品や各国の美術作品を都度紹介することによって鑑賞の機会を増やし、造形的なよさに気付かせ、自分の見方や感じ方を広げさせることができた。

### (2) 課題

- ・児童の学びに対する意欲の個人差が大きく、関心をもって主体的に学ぶことができない児童もいる。
- ・用具の正しい扱い方や作品制作の手順について、理解するのに時間がかかったり理解が難しかったりする児童がいる。
- ・表したいことを見付けたり表し方を工夫したりすることが苦手な児童がいる。

## 2 観点別分析

### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や道具の特性を理解し、手や体全体の感覚などを働かせて表そうとしている。</li> <li>・表現の技能には個人差があり、手や体全体の感覚の継続的な育成が必要であると考ええる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料の形や色などから造形的なよさを思いつき、どのように表すかを考えながら学習している。</li> <li>・好きな形や色を選んだり、いろいろな形や色を考えたりしながら表し方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の活動では、ほとんどの児童が主体的に取り組んでいる。</li> <li>・表現の活動では、学びに対する意欲に個人差がある。気持ちが散漫になり、一つの表現に集中することが難しい児童もいる。</li> </ul>

### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・材料や道具を適切に扱い、前学年までの経験を生かしながら手や体全体を働かせて表そうとする児童が多い。</li> <li>・表現の技能には個人差があり、手や体全体の感覚の継続的な育成が必要であると考ええる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、想像したこと、見たことから表したいことを見付け、どのように表すかを考えながら学習している。</li> <li>・形や色、材料などを生かしながら、表し方を工夫している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞の活動では、ほとんどの児童が主体的に取り組んでいる。</li> <li>・表現の活動では、学びに対する意欲に個人差がある。気持ちが散漫になり、一つの表現に集中することが難しい児童もいる。</li> </ul>

### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・表現方法に合わせて材料や道具を選ぶことができる児童もいる。前学年までの経験や技能を生かして表そうとする児童もみられる。</li> <li>・表現の技能は個人差が大きい。活動の経験を増やし、表す力を継続的に育成する必要があると考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたこと、想像したこと、見たこと、伝え合いたいことから表したいことを積極的に見つけようとする児童もいるが、発想や構想の力は個人差が大きい。「美しい!」「表したい!」と感じる経験を増やし、表現力を高めたいと考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習意欲の個人差が目立つ。高い意欲で自分の表現に主体的に取り組む児童がいる一方で、気持ちが散漫になり、学習に集中することが難しい児童もいる。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用しながら児童の目の前で「やってみせる」ことを確実にし、材料や用具の特性を理解させる。</li> <li>・表現活動の時間を確保し、手や体全体の感覚の育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作途中の作品や各国の美術作品を都度紹介することによって鑑賞の機会を増やす。そのことにより表現の工夫に気付かせ、自分の見方や感じ方を広げさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく取り組みやすい活動を提示し、めあてを明確にもたせて表現に取り組ませる。</li> <li>・それぞれの児童が興味をもっていることを学習内容と結び付け、学習意欲を高める。</li> </ul>

### (2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器を活用しながら児童の目の前で「やってみせる」ことを確実にし、材料や用具の適切な扱い方を理解させる。</li> <li>・表現活動の時間を確保し、手や体全体の感覚の育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作途中の作品や各国の美術作品を都度紹介することによって鑑賞の機会を増やす。そのことにより造形的なよさに気付かせ、自分の見方や感じ方を広げさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく取り組みやすい活動を提示し、めあてを明確にもたせて表現に取り組ませる。</li> <li>・それぞれの児童が興味をもっていることを学習内容と結び付け、意欲を高める。</li> </ul>

### (3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年までの経験を振り返らせ、自分のもつ経験や技能が生かせることを感じさせる。</li> <li>・ICT機器を活用しながら児童の目の前で「やってみせる」ことを確実にし、材料や用具の適切な扱い方を理解させる。</li> <li>・表現活動の時間を確保し、手や体全体の感覚の育成に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作途中の作品や各国の美術作品を都度紹介することによって鑑賞の機会を増やす。そのことにより造形的なよさや美しさ、表現の意図に気付かせ、自分の見方や感じ方を広げさせる。</li> <li>・それぞれの児童が興味をもっていることを表現に生かすよう指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく取り組みやすい活動を提示し、具体的なゴールを明示して学習に取り組ませる。</li> <li>・それぞれの児童が興味をもっていることを学習内容と結び付け、意欲を高める。</li> </ul>



## 令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立東糀谷小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・学習したことを実際の生活に活用する機会が増えるように工夫したことにより、日常生活に生かそうとする意欲が育っている。
- ・友達との教え合いや互いの作品の良さを見付け合うなど、豊かな関わり合いの中で学習を進めている。

#### (2) 課題

- ・学習内容の定着度に課題がある。意欲的に取り組めるため、学習の直後はよく覚えている。しかし、しばらく経つと忘れてしまうため、学習の積み重ねが難しい。家庭と連携して学習したことを日常的に行っていく必要がある。
- ・個人の能力や生活経験の有無により、学習の到達度に関して、個人差が大きい。個別指導の充実や教え合いによる共有化が必要である。

### 2 分析（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・意欲をもって学習に取り組めるため、知識の習得はおおむねできているが、時間が経つと忘れてしまう。</li> <li>・技能面では指先を使った細かい作業が多いため、技能の個人差が大きい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことを基に日常生活の問題を見つけ、解決方法を考えようとしているが、生活経験の有無によって、個人差がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習への意欲は高く、すすんで学習に取り組もうとしている。</li> </ul>

### 3 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で知識を定着させていくために、引き続き、相互での学び合いの時間をとり豊かな関わり合いの中で知識を獲得できるようにする。</li> <li>・家庭と連携して学習したことを生活に生かすようにすることでさらなる定着を図る。</li> <li>・技能の個人差については個別指導を続けていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の中で思考力を定着させるために、日常生活に生かしていくという視点で学習の振り返りを行わせる。</li> <li>・家庭と連携して、学習したことを実際に生活に生かしているようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習に取り組む態度を養うために、引き続き、実習や実技などの活動の時間を確保していくための授業展開を続けていく。</li> </ul>